



今月のトピック

根を万全な状態にして
吸水量の増加に備えましょう！



年が明け、日射量の増加とともに吸水量が増える時期がやってきます。根が健全な状態でなければ、植物にとって必要な養水分を吸い上げることができず、しおれや生育不良につながります。現在の根がどんな状況なのか、今のうちに確認をして対策しておきましょう。

根の診断方法、確認のポイント

●まずは根を確認、診断してみましょう！

根は養水分を吸収する部位であり、傷むと草勢の低下やしおれにつながります。

【診断方法】

- ◎下の写真のようにココバッグの側面を切り開いて根の様子を確認します。
※排水スリット側を切ると根を確認しやすいです。
- ◎切り開いたココバッグは、観察を終えたらしっかりテープで留めておきます。
※根は日光に当たると伸長をやめてしまいます。

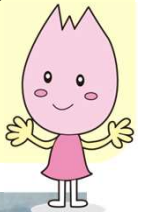


『根域確認用バッグ』

『根域確認用バッグ』では、ココバッグの側面を切らずに、根の様子を確認することができます。



▶こちらで紹介しています



【確認のポイント】

- ① 根域
根が培地の中でどのように分布しているか
- ② 根の状態
根の色、量はどうか？

【健全な根とは…】

- ◎根が培地全体に広がっており、底面に巻いている。
- ◎色が白く、先端も焼けていない
⇒管理はそのままでOK！
日射量が増減するタイミングで、灌水量の過不足がないように注意しましょう。

➡ 健全でない場合の診断は…(次のページへ)

●状態が悪い根とは？

根全体の様子	その他の様子	診断結果
収穫期になっても、 培地の上の方にのみ張っている 	培地温が35℃以上	高温により根の呼吸量が増え、 酸欠状態に
	排水がほとんど出ていない	灌水が少量多頻度で 培地の土層にのみ水分がある状態
	1日の最初の灌水時に、 排水が出ている	培地内に常に水分があり、 根が下まで張っていかない状況 酸欠状態 (特に夜間に水が残っている)
茶色の根が多く、白い根が少ない 根は全体に張っているが、 量が少ない 	根が腐っている	
	根の先端が褐変し、 萎れている	灌水量が足りていない状態 (夏場や春への管理切替の タイミングで起こりやすい)
	栽培後半で着果数が多い	なり疲れ・天候不良・着果負担で、 根に養分が不足している
	培地温が低い 天候不順が続いている	

今回の内容は「根の見方、診断の方法」のダイジェスト版です
各診断結果への対策は別添の「根の診断」に記載していますのでご参照ください

日射量に合わせた灌水なら！

日射コンローラ『ひかり当盤』

灌水制御盤に接続することで、灌水の日射比例制御が可能です。日常的に変更する設定項目は「制御時刻」と「日射量」のみ！シンプルなコントローラです。

▶詳しくはこちら！



毎日の排水計測はおまかせ！

給排水計測『はいえき当盤』

毎日の給液量・排水量、排水が出たタイミングを記録できます。排水量に応じて給液を調整するフィードバック機能も搭載。日々の吸水量の変化を数値で把握することができます。

▶詳しくはこちら！

